

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学Ⅱ-B		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302 他
担 当 教 員	馬庭 春樹 ほか	実務経験と その関連資格	理学療法士として急性期病院に勤務経験あり。呼吸認定療法士取得。島根大学医学部において医科学修士を取得。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>理学療法の対象になる主な神経・筋疾患に関する病態と障がい像を理解し、基本的な評価・治療手技を実習を交えながら学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神経筋疾患の障害像ならびに評価の考え方を理解する。</li> <li>・症例に応じた評価項目を選択でき、評価結果から問題点を導くことができる。</li> <li>・障害像に応じた理学療法プログラムの立案能力を習得する。</li> </ul>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験、授業への取組により評価する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>標準理学療法学 神経理学療法学 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>事前に指定テキストを読んでおく。授業後、内容の確認をしておく。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>授業中に口頭試問等行う。適宜小テストを行う。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋疾患の概要、パーキンソン病の病態について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	神経筋疾患の概要、パーキンソン病の病態についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	神経筋疾患の概要、パーキンソン病の病態			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の病態と評価について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	パーキンソン病の病態と評価についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の病態と評価			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の運動療法、日常生活動作訓練について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	パーキンソン病の運動療法、日常生活動作訓練についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の運動療法、日常生活動作訓練			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	失調症の病態、症状と評価について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	失調症の病態、症状と評価についてのテキストの箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	失調症(病態、症状と評価)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	失調症の運動療法、日常生活動作について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	失調症の運動療法、日常生活動作についての	

5 回	演習形式	各コマにおける授業予定	失調症(運動療法、日常生活動作)	テキスト、配布資料	日常生活動作についてのテキストの箇所を讀んでおく。
--------	------	-------------	------------------	-----------	---------------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脊髄小脳変性症についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	失調症(脊髄小脳変性症)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷・脳腫瘍について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	頭部外傷・脳腫瘍についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷・脳腫瘍 病態、評価、理学療法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症の病態、評価について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	筋萎縮性側索硬化症の病態、評価についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	筋萎縮性側索硬化症(病態、評価)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症のリスク管理、運動療法について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	筋萎縮性側索硬化症のリスク管理、運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	筋萎縮性側索硬化症(リスク管理、運動療法)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症の日常生活動作について学び、実践できるようになる。	テキスト、配布資料	筋萎縮性側索硬化症の日常生活動作についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	筋萎縮性側索硬化症(日常生活動作)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだ内容を振り返り、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	今まで学んだ内容についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	振り返り(1)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症の病態と症状、評価について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	多発性硬化症の病態と症状、評価についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症(病態と症状、評価)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症のリスク管理、運動療法について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	多発性硬化症のリスク管理、運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症(リスク管理、運動療法)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	多発性硬化症の日常生活動作について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	多発性硬化症の日常生活動作についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	多発性硬化症(日常生活動作)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋接合部の疾患・筋ジストロフィーについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	神経筋接合部の疾患・筋ジストロフィーについてのテキストの箇所を読んでおく。

15回	義形式	各コマにおける授業予定	神経筋接合部の疾患・筋ジストロフィー	テキスト、配布資料	筋ジストロフィーについてのテキストの箇所を読んでおく。
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	膠原病について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	膠原病についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	膠原病		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経疾患、ギラン・バレー症候群について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	末梢神経疾患、ギラン・バレー症候群についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	末梢神経疾患 ギラン・バレー症候群		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	内部疾患と神経症状について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	内部疾患と神経症状についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	内部疾患と神経症状		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	てんかん・認知症について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	てんかん・認知症についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	てんかん・認知症		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染・栄養障害・中毒と神経疾患について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	感染・栄養障害・中毒と神経疾患についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	感染・栄養障害・中毒と神経疾患		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだ内容を振り返り、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	今まで学んだ内容についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	振り返り(2)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	めまい、姿勢の異常、不随意運動について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	めまい、姿勢の異常、不随意運動についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	めまい、姿勢の異常、不随意運動		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経障害について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	自律神経障害についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	自律神経障害		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭痛・意識障害について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	頭痛・意識障害についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	頭痛・意識障害		

第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚障害、痛みについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	感覚障害、痛みについてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	感覚障害、痛み		
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法以外の検査・治療について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	理学療法以外の検査・治療についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	理学療法以外の検査・治療		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像所見について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	画像所見についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	画像所見		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだ内容を振り返り、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	今まで学んだ内容についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	振り返り(3)		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	今まで学んだ内容をまとめ、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	今まで学んだ内容についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋疾患の国家試験について学び、解説できるようになる。	テキスト、配布資料	神経筋疾患についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	国家試験問題		
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			

		各コマに おける 授業予定			
		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			